



下田市長

楠山俊介

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

私も新年とともに、就任満6か月を迎えることとなります。市民の皆様からの楠山市政に対します「前進へ」「変革へ」の期待・要望をひしひしと感じる毎日であります。政治、行政の最大の使命は「住民の生命と財産を守る」ことであります。まずは継続的な市民サービスを優先し、そのための行財政改革が必要で、そのうえで「維新改革」を念頭に、今後、官民一体の市政を具体的に展開していくことを新年のお約束とさせていただきます。

快国下田をめざして

本年は、「暮らす人も訪れる人も快適なまち」とはどんなまちなのか、市民全体で考え、

実践していく重要な年であると思えます。市民総参加、官民一体となったまちづくり元年を目指したいと思えます。観光まちづくり
観光活性による外貨獲得、経済活性はこのまちにとって重要なことです。

そのため、観光をこのまちの中核産業、総合産業と捉え、各地域、産業が一体化した展開をし、循環型地域経済の形成を目指します。また、観光計画としての大きな枠組みを作るとともに「30カラーズ」や「きんめだる」等の具体的展開を推進していきたいと思えます。

安心まちづくり

教育・子育て環境の整備といたしまして、認定こども園開設が予定されています。また、巨大地震想定を踏まえた防災計画の見直しや体制の整備、下田・西伊豆の消防組織統合を進めています。

医療環境整備としまして、下田メディカルセンターを公立病院として信頼されるよう充実させていくと同時に、民間医療施設や3次救急を願っています。順天堂大学付属静岡病院との連携を充実

させていきます。道路・交通整備としまして、伊豆縦貫自動車道下田・河津間早期開通に向け、地域一丸となった活動を展開していきたいと思えます。実践まちづくり
官民一体となったまちづくりにおいて、まずは、市職員

の存在は重要です。就任時、「私たちは市民の皆様のために、楽しく笑顔で、速く正しく、力を合わせて働きます」という標語を提示しました。これを常に心がけ、向上すべきだと思えます。

地域の長としてしっかり先導してまいりますのでご期待ください。地域コミュニティの充実

はどの場面においても重要です。心豊か、安心安全なまちづくりを目指して、官民一体となった活動を展開していきたいと思えます。

以上、「快国」下田を目指して、市民の皆様と共に、元氣なまちづくりを進めてまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

下田市議会議長

大黒孝行

市民の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまには、ご家族お揃いで穏やかに新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、市政の一翼を担う市議会に対し、平素、温かいご支援とご協力を賜っており、心より感謝を申し上げます。

昨年、東日本大震災から一日も早い復旧、復興を、日本経済の長引く景気低迷からの脱却を全国民が願った年でした。当市では、黒船祭でいち早く「トモダチ作戦」を展開し多大なご支援ご協力をいただいた在日米海軍をはじめ、関係各機関への感謝の意を表すとともに、山田町をはじめ被災地の皆さまに「しばしのくつろぎ、やすらぎの時を」の思いを込めて黒船祭を開催され、祭りに込められた

思いは通じたことと思えます。さらに、2012下田トモダチ宣言として「絆」を強め、未来に向けて永遠の「トモダチ」である宣言を、米国はもとより国内外に向けて発信することが出来ました。

観光立市として、日中関係の悪化や世界経済の不透明感、本市をとり巻く環境は厳しいままでしたが「伊豆半島ジオパーク」の日本認定を受け、広域連携による観光推進構想の広がりが「伊豆観光圏」の中で観光資源として、また、そこに住む我々の誇りとして明るく暮す、そのことが「国の光を観る」の観光に結びついていけばと思っています。

議会改革では「開かれた議会」とするため、実現可能なテーマを設置し調査・検討を重ね、昨年末議会で「議会報告会あるいは市民との意見交換会の設置」等の報告がなされ、信頼される議会に向けての取組みが示されました。本年度の具現化に向け、市民の皆さまのご協力、ご助言を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、本年は平成25年、四半世紀の節目です。国政では、

新しい内閣のもと、この国の形が予算として示され、本市では、新市長になってはじめての予算が示されます。「第四次総合計画」の理念のもと、現実的な肉付けをし、血を通して、本市の将来像に掲げた「自然と歴史を活かし、やすらぎと活力のある美しいまちづくり」の実現に向け、算として語られる思いに対し、市民の皆さまと市政の一層の信頼、理解の深まる議論を重ねてまいります。新庁舎建設等の基本計画、防災計画の見直し策定等、課題は山積いたしてありますが、皆さまの「安心・安全」と信頼をいただけるよう努めてまいります。「己の刻」が、一日の半ばである午の刻の前であることから「物の新しい事」「物の盛んなこと」に例えられもする本年は、十二支の六番目「巳」の年です。市内外の困難な変革の時にめぐり合わせたことをむしろ喜びと考え、力を尽くして取り組んでいきたいと思っております。

結び、本年が皆さまにとつて幸多い年でありますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



下田市長

楠山俊介

快国下田をめざして

本年は、「暮らす人も訪れる人も快適なまち」とはどんなまちなのか、市民全体で考え、

安心まちづくり

教育・子育て環境の整備といたしまして、認定こども園開設が予定されています。